

合同会社水野 子会社化について

平成28年9月21日



- ◆ 本取引の概要
- ◆ 水野薬局について
- ◆ 日本調剤とのシナジー効果について
- ◆ 日本調剤の今後のM & A戦略について

- ・ 合同会社水野の持分100%を譲り受け
- ・ 契約締結日:平成28年9月20日
- ・ 持分譲渡実行日:平成28年10月1日(予定)

◆平成27年11月期業績

	単位(百万円)
売上高	2,788
営業利益	57
経常利益	79
当期純利益	64

- ・ 調レコ事業(後述)をタイムマシーン株式会社から譲り受け
- ・ リバティシステム事業(後述)を継続
- ・ 現経営陣は全員退任し、日本調剤から役員を派遣



◆水野薬局の歴史

- 1909年 開設
- 1964年 日本で初めての調剤薬局。
- 1980年 慶應義塾大学工学部、浦研究室との共同でAPOS (Advanced Patient Oriented System) を開発
- 1983年 Liberty Systemが稼働
- 1994年 ホームページ開設
- 2005年 ISO9001:2000 (品質マネジメントシステム) をドイツTUV認証の下、取得



1960年代の水野調剤薬局(現:水野薬局)

◆店舗

- 水野薬局(東京都文京区湯島4-1-24)
:東京大学医学部付属病院前
- にしすが水野薬局(東京都文京区弥生1-5-8-100)
:日本医科大学付属病院前

① 徹底した品質管理

- ISO 9001:2008 認証取得済み(薬局業界では希少)
- ビデオカメラ(調レコ)による医療安全管理



② 業界最先端のICT

– 安全性・効率性を追求した独自開発の業務システムである
「Liberty System」

Liberty System

ネットワークで統合化された薬局業務基幹システム

- 統合化**
QRコード、RFID等で、粗結合のネットワークを構成
- 薬物治療志向**
薬剤師による薬物治療がゴールです
- 品質管理**
ISO9001との親和性があり、品質管理システムの一部になること
- 世界標準**
世界標準である1薬品1薬袋を採用
- プロ志向**
毎日使う人向けであり、直感的に使えるユーザーインターフェイス
- もちろん電子レセプト対応**

ISO9001:2008

品質管理に最適

品質管理

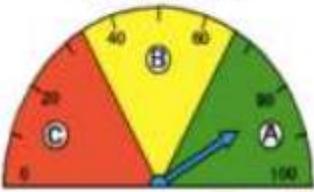
LibertySystemは薬局の品質管理に最適なシステム。理由は、充実したサブシステム、データマイニングシステム、調剤レコーダー、ピッキングシステムにあります。QRコードやRFIDを使って薬剤師をサポートします。

ネット対応

情報共有とリアルタイム

キーワードは情報共有。端末からネットを使ってどこでもアクセス。まるでそこにいるかのように他の薬局店舗の処方入力や在庫管理を処理できます。さらに、ネット経由の薬マスクー自動更新サービスもあります。

オッズ検定結果



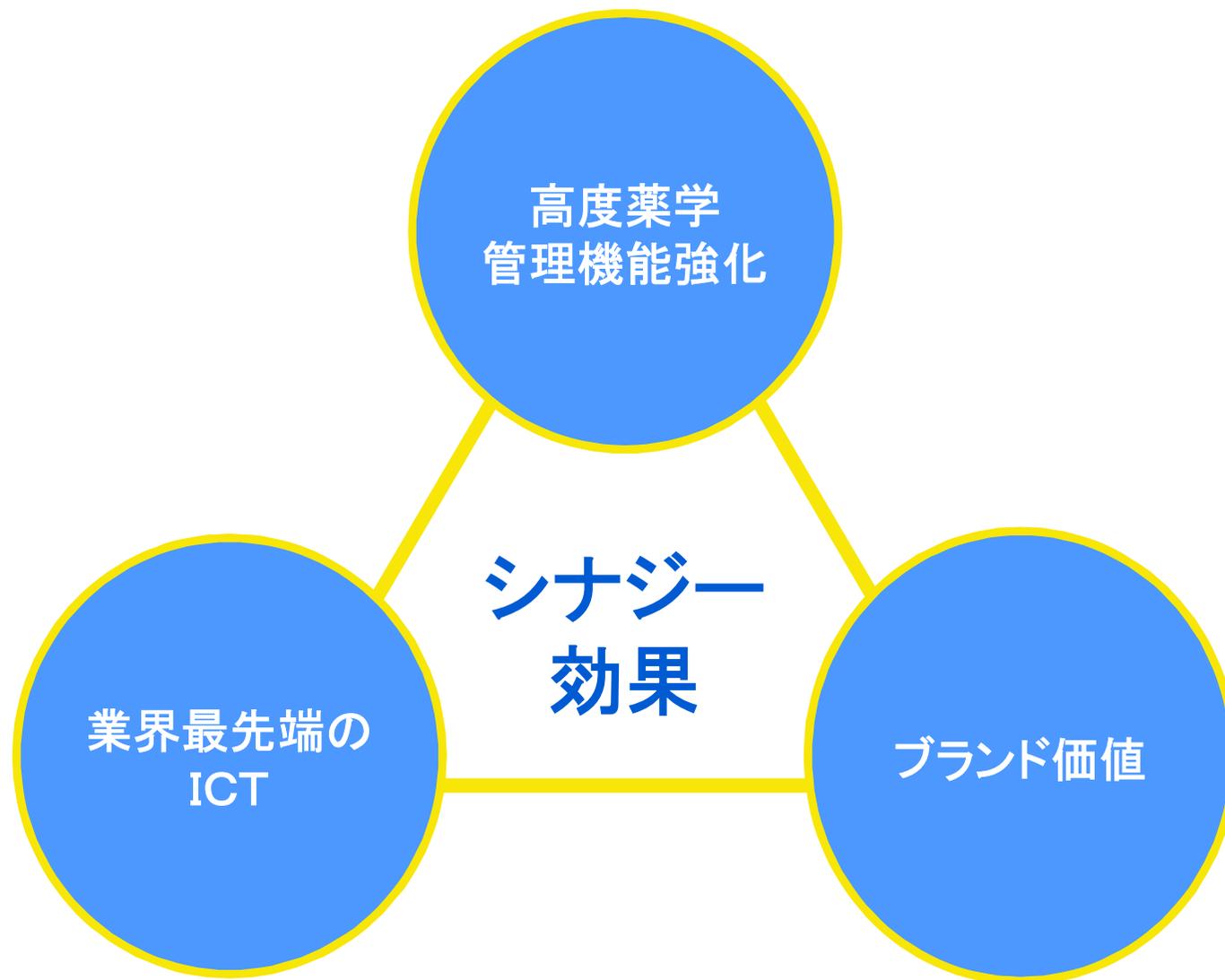
薬と性別

薬名	性別	年齢	性別						
...

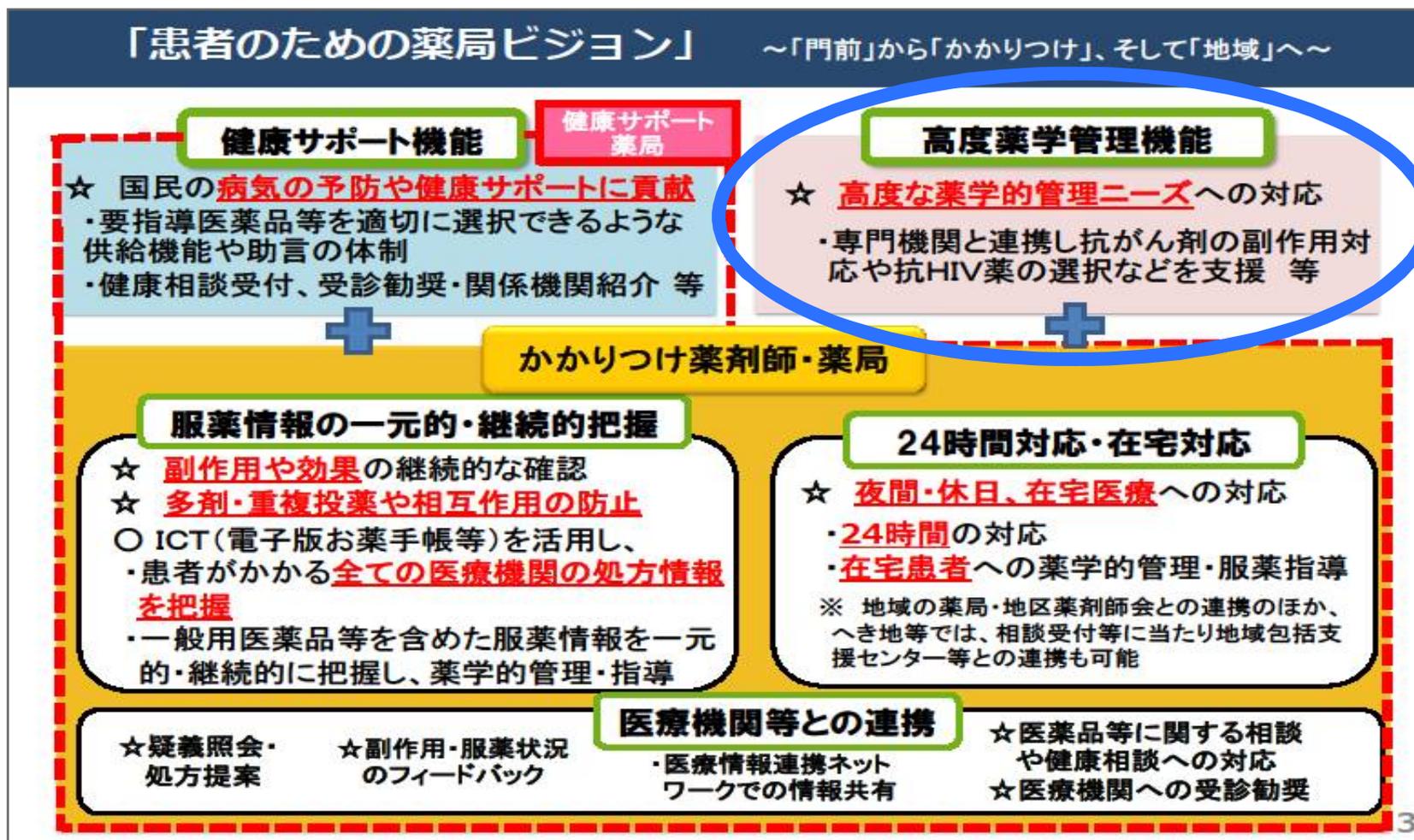
この情報は公開されています。この情報は公開されています。この情報は公開されています。

③ 患者視点を追求した店舗作り





◆ 高度薬学管理機能強化



出典：厚生労働省

◆ 高度薬学管理機能強化

高度薬学管理機能

- 学会等が提供する専門薬剤師の認定等を受けた、**高度な知識・技術と臨床経験を有する薬剤師**を配置。
- **専門医療機関との間で、新たな治療薬や個別症例等に関する勉強会・研修会を共同で開催**する等の取組を継続的に実施。
- がんやHIV、難病のような疾患を有する患者に対して、あらかじめ**医療機関との間で対応要領を定め**、次のような高度な薬学的管理ニーズへの対応を行う。
 - **抗がん剤服用時**などに、発熱等の副作用が生じた際に、**担当医への受診などの対応について助言**。
 - **抗HIV薬服用患者**の場合に、他の併用薬等の情報をもとに、**適切な抗HIV療法を選択**できるよう支援。

出典：厚生労働省

◆高度薬学管理機能強化

- 日本調剤の大学付属病院前薬局:67店舗
(全国の大学付属病院:163病院)
- 既に旭川医科大学病院、名古屋大学医学部付属病院等と研修プログラムを実施し、薬剤師を育成中



今回の水野薬局の子会社化によって、
**高度薬学管理機能の更なる強化と
ノウハウの取得が可能となる。**

◆ 業界最先端のICT

- ・ 両社共に業務システムは**自社開発**(業界では希少)
- ・ **優れた先進性**

例) リバティシステム

： 特許技術を用いたビッグデータ解析による調剤エラーの検出

日本調剤基幹システム

： 電子お薬手帳「お薬手帳プラス」の自社開発

今後の両社のシステム共同開発により、
**弊社調剤薬局事業全体の効率性向上と
医療安全性向上**が大きく期待できる。

◆ブランド価値



患者に対する ブランド価値

- ・ 長年培った知名度
- ・ 医療安全性の高さや
高度な服薬指導による
信頼性

業界に対する ブランド価値

- ・ 圧倒的な先進性と
業界内知名度
- ・ 業界内での信頼性
- ・ 優秀な人材を輩出

**日本調剤グループ全体の
ブランド価値向上**

◆水野薬局の今後

- 店名、システムは当分の間変更無し
- 両社のノウハウを活用する為、相互の人事交流等を検討
- 両社の業務システムの長所を活かし、業界最先端のシステムを開発



**医療の質向上と
グループの企業価値の最大化
を目指す**

M&Aは確実に増加傾向であり、案件は様々なタイプに分かれている。

◆出店数とM&A数

(※)水野薬局2店舗は含まず

	出店数	うちM&A
平成28年上半期(※)	23	11
平成27年	27	5
平成26年	29	1
平成25年	37	3

◆平成28年上半期出店タイプ別出店数

	出店数	うちM&A
大規模病院門前	16	5
MC(医療モール)	3	2
開業医マンツーマン	4	4

M & Aは増加させる方針だが、1店舗あたり売上高を重視する方針に変化無し

